

なかつか 亮



2016年10月30日(日)

NO504

区議控室 Tel 5742-6818

事務所 大井3-19-7-101

Tel 3773-3231

区の姿勢をここまで変える!

◆給付型奨学金の提案に対する区答弁◆ (議事録より要点整理)

これまではNO (2009年6月)

「返済を前提にした制度が妥当」「勉学に励んで働いて、お金をかえす。それが奨学金という教育的な観点と考えている」



現在はYES (2016年10月)

「来年度予算編成でまとまる方向」「進学の高い意志がありながら、経済的な理由をもとに断念する人を減らす支援の1つ」「経済状況に限らず、家庭の様々な事情に対し、子ども達が未来への希望を持てるように、いま取り組んでいる」



10月4日から始まった品川区議会の決算委員会で、共産党は区民から寄せられる多くの要望実現に全力。この中で高校生や大学生への給付型奨学金の来年度実施へあと一歩まで迫ることが出来ました。

親から子どもへ 貧困の連鎖を断ち切りたい
給付型奨学金の実現へ
あと一歩

選挙公約のひとつ

返済の必要ない給付型奨学金は子育て支援の充実、子どもの貧困克服にとって、とても重要なテーマ。また、2年前の区議選時における、なかつか亮区議の選挙公約のひとつでもあります。

区は大学生は国の制度、高校生は都の制度とし「平成29年度の予算編成までにまとまる方向」と説明。詳細はこれからですが、実施時期が来年4月間に合う「方向」との説明がありました。(裏)

これまでも「親の病
気や失業、会社の倒産
などを機にお金が払え
ず」「進学をあきらめる
」「学業を続けられな
い」「など生徒や学生の
未来を親の経済力で奪
う事はあつてはならな
い。親から子への貧困
の連鎖を断ち切ること
は、社会が克服しなけ
ればならない問題だ」と
と区議会を取り上げ、
給付型奨学金の実施や
就学援助の充実などを
提案してきました（2
009年6月本会議）。

「返済を前提にした制
度が妥当」などと提案
を拒否。子どもの貧困
克服では「あくまで自
助努力を支援するのが
基本的なスタンス」
（2015年2月）な
どと、子どもの努力で
は どうする事もできな
い親の経済力について
「自助努力」と答弁。
経済的に困難な家庭の
子どもに対して冷たい
対応を繰り返してきま
した。

国会や

都議会とも連携

子どもの貧困問題は
社会的にも関心が大き
く広がり、国政選挙や
都議選でも争点の一つ
に。そこに共産党の議
席増も加わり、ついに
実現へ大きな一歩を踏
み出すことに繋がりに
ました。

ここまで来るには長
い年月がかかりました
が何よりも子どもの未
来を守りたいとの多く
の声で、政治を動かす
力になったと思います。
今後とも声をあげ一
緒に力を合せましょう。

羽田国際線を増やすための品川低空飛行問題

計画中止 現在の海上ルートを守れ！



住民が6回目のデモ行進

10月22日（土）に行われた品川低空飛行に反対するデモ行進は、ついに6回目。今回は高層マンションが立ち並ぶ大崎地域にて開催されました。

住民の関心はとても高く、マンションのベランダから手を振って声援を送る方も。あわせて街頭での署名活動も、賛同者が増えてきています。

10月29日（土）には「反対する区民の会」が活動1周年を機に反対集会を荏原第五区民集会所にて午後6時半から開催します。ぜひ、ご参加ください。そして何としても計画を撤回させましょう。

次回の「無料法律相談会」は下記の日程で行います

急な生活相談など、ご相談はお気軽にご連絡下さい

11月25日(金) 午後6時～8時 場所：日本共産党なかつか亮事務所
連絡先 昼：区議控室 **5742-6818** 夜：事務所 **3773-3231**